

第7回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

—鋼・合成構造における技術開発—

Proceedings of The 7th Symposium on Steel Structures and Bridges

日時：2004年8月2日

会場：法政大学スカイホール（東京）

社団法人 土木学会

鋼構造委員会

登録 番号	平成16年9月2日
	第 51050 号
社団法人 土木学会	
附属 土木図書館	

第7回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

—鋼・合成構造における技術開発—

Proceedings of The 7th Symposium on Steel Structures and Bridges

日時：2004年8月2日

会場：法政大学スカイホール（東京）

社団法人 土木学会

鋼構造委員会

第7回 鋼構造と橋に関するシンポジウム

序 文

土木学会鋼構造委員会は、土木分野の鋼構造を対象として、その学術および技術の発展のために、材料を含め、構造部材や構造システムの設計、施工全般にわたる調査研究活動を行っています。併せて、歴史的建造物の資料の編纂や鋼建造物と関係の深い、合成、混合構造などのハイブリッド構造、さらには木構造の技術的発展を念頭においた研究活動も行っています。

これらの委員会活動の成果は土木学会鋼構造シリーズとして出版委員会を通して刊行してきましたが、それ以外にも、シンポジウムや講習会を開催して、土木学会会員の皆様への各小委員会の活動成果の還元を積極的に行っています。また、3年前から土木学会技術者資格制度が発足しましたが、その更新には継続教育を受けることが求められていることから、委員会の活動成果を利用した継続教育にも積極的に取り組み始めています。

このような趣旨に沿って、当委員会では、1998年より委員会の活動紹介とともに、活動成果の会員への還元と最新情報の発信、併せて研究者・技術者の交流を目的とし、「鋼構造と橋に関するシンポジウム」を企画し、同時に論文報告集の発刊を行っています。

今回は第7回として『鋼・合成構造における技術開発』をサブテーマとして取り上げ、関係各位より最新の動向を中心に情報の提供をお願いしました。なお、午前の部では、韓国におけるデザインコンペの状況について特別講演を頂きます。今後我が国でも一般化すると考えられるコンペに関しての有用な情報が得られればと考えています。今回の企画が鋼ならびに橋構造の更なる発展に資することを期待しています。

最後になりますが、鋼構造委員会では、本年度より「鋼・合成構造標準示方書」の作成に着手します。この示方書では、種々の限界状態を対象とした性能照査型設計への移行を企図して、荷重や抵抗に部分安全係数を導入した照査フォーマットを組み込んだ設計規準を策定することを目指しており、基本計画編、設計編、耐震編、製作・施工編、維持管理編で構成されます。当面は鋼・合成橋梁をターゲットとした内容となりますが、今後は広く鋼構造一般を扱う予定です。関係各位の絶大なるご支援をお願いしたいと思います。

2004年8月2日

土木学会鋼構造委員会
委員長 長井 正嗣

第7回鋼構造と橋に関するシンポジウム

実行委員会

委員長	長井 正嗣	(長岡技術科学大学)
委員	大垣 賀津雄	(川崎重工業(株))
	奥井 義昭	(埼玉大学)
	角 昌隆	(日本道路公団)
	田中 雅人	((株)東京鐵骨橋梁)
	野澤 伸一郎	(東日本旅客鐵道(株))
	堀田 毅	(大日本コンサルタント(株))
	本間 宏二	(新日本製鐵(株))
	森 猛	(法政大学)
	村越 潤	(独立行政法人 土木研究所)
	柳本 泰伴	(住友金属工業(株))
	山口 栄輝	(九州工業大学)
	山本 広祐	((財)電力中央研究所)

第7回 鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集

2004.8

土木学会

目次

1	韓国における橋梁デザインコンペ及び契約システム	米沢栄二, 杉山達彦	1
2	日本道路公団における橋梁の最新技術	猪熊康夫	11
3	都市内立体交差部の工期短縮工法	大下武志	21
4	制震部材を用いた鋼橋の耐震設計	宇佐美勉	31
5	合成床版の現状と留意点	八部順一	49
6	橋梁用高性能鋼材の適用技術	古川直宏	61

PROCEEDINGS OF THE 7TH SYMPOSIUM ON
STEEL STRUCTURES AND BRIDGES
2004.8
Japan Society of Civil Engineers
CONTENTS

1	THE BRIDGE DESIGN COMPETITION AND CONTRACT SYSTEM IN KOREA Eiji YONEZAWA and Tatsuhiko SUGIYAMA	1
2	RECENT BRIDGE TECHNOLOGY OF JAPAN HIGHWAY PUBLIC CORPORATION Yasuo INOKUMA	11
3	DEVELOPMENT OF THE METHOD TO REDUCE ON-SITE WORKS' PERIOD ON OVER-PASS CONSTRUCTION PROJECT IN ARBAN AREA Takeshi OSHITA	21
4	SESMIC DESIGN OF STEEL BRIDGES WITH ENERGY DISSIPATION DEVICES Tsutomu USAMI	31
5	PRESENT SITUATION AND CONSIDERING POINT OF STEEL-CONCRETE COMPOSITE SLAB Jun-ichi YABE	49
6	TECHNIQUE IN APPLICATION OF HIGH PERFORMANCE STEELS FOR BRIDGE CONSTRUCTION Naohiro FURUKAWA	61